

令和3年度 定期作況報告

(9月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業部(岩見沢市)

I 気象概況

8月下旬の平均気温は平年より1.0℃高く、降水量は平年の10%、日照時間は平年の89%であり、高温・少雨に経過した。

9月上旬の平均気温は平年より1.5℃低く、降水量は平年の4%、日照時間は平年の150%であり、低温・少雨・多照に経過した。

9月中旬の平均気温は平年より1.3℃低く、降水量は平年の27%、日照時間は平年の161%であり、低温・少雨・多照に経過した。

8月下旬から9月中旬までの平均気温は平年より0.6℃低く、降水量は平年の14%、日照時間は平年の131%であった。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			通算		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	21.8	20.8	1.0	19.1	20.6	△ 1.5	16.5	17.8	△ 1.3	19.2	19.8	△ 0.6
最高気温(℃)	26.3	25.7	0.6	25.0	25.4	△ 0.4	22.8	22.6	0.2	24.8	24.6	0.2
最低気温(℃)	18.2	16.9	1.3	14.2	16.7	△ 2.5	11.1	13.6	△ 2.5	14.6	15.8	△ 1.2
降水量(mm)	6.0	58.3	△ 52.3	2.5	61.4	△ 58.9	18.5	67.6	△ 49.1	27.0	187.3	△ 160.3
日照時間(hr)	52.9	59.6	△ 6.7	79.2	52.7	26.5	77.3	48.1	29.2	209.4	160.4	49.0

注1) データは「アメダス岩見沢」を使用し、平年値は前10ヶ年の平均値を用いた。

注2) 表中の気温は期間内の平均を示し、降水量と日照時間は期間内の積算値を示した。

II 作況

5月20日 平年並

事由:播種は平年並の4月16日に行った。4月第4半旬は寡照に経過し、出芽期は平年より1日遅い4月23日であった。4月下旬から5月中旬までを通じた平均気温および日照時間は平年並であった。移植は平年より1日早い5月19日に行った。

移植時の苗において、草丈は9.4-9.5cmで平年より短く、莖数は1.0本/個体と平年並であった。主稈葉数は3.1-3.2枚と平年並で、100本あたりの地上部乾物重は1.96-1.98gと平年より小さかった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.21と平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 平年並

事由:5月第5半旬の平均気温は平年並に経過し、活着は良好であった。5月第6半旬は低温・寡照に経過したが、6月上旬から6月中旬までは高温・多照に経過した。

6月20日において、草丈は26.5-28.0cmと平年よりやや短く、莖数は324-375本/m²、主稈葉数は7.3-7.5枚とそれぞれ平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

7月20日 平年並

事由:6月下旬から7月中旬までの平均気温は平年並から高温に経過し、幼穂形成期は平年より2日、止葉期は平年より3日早かった。

7月20日において、草丈は68.0-71.7cmと平年並からやや長く、莖数は610-725本/m²と少なく、主稈葉数は10.0-10.4枚と平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

8月20日 やや不良

事由:7月第5半旬の平均気温は高温に経過し、出穂期は平年より4-5日早く、穂揃日数は平年より1.0-1.2日短かった。7月下旬から8月中旬までは高温多照に経過し、登熟は早く進んでいる。

乳熟期において、稈長は61.2-61.9cm、穂長は15.3-15.7cmと平年よりやや短く、穂数は604-705本/m²と少なかった。一穂粒数は40.5-50.2本/粒と平年並で、稈実粒数は26.9-28.9千粒/m²と平年よりやや少なかった。

以上により、現在の作況は、やや不良である。

9月20日 平年並

事由:平均気温は8月下旬が高温に、9月第1半旬が低温に経過し、成熟期は平年より7-8日早く、登熟日数は平年より3日短かった。登熟歩合は平年より7.9-10.1ポイント高く、登熟粒数は26.5-28.5千粒/m²と平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.16	4.16	0	4.16	4.16	0	
出芽期 (月.日)	4.23	4.22	1	4.23	4.22	1	
移植期 (月.日)	5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1	
幼穂形成期 (月.日)	6.28	6.30	△ 2	6.28	6.30	△ 2	
止葉期 (月.日)	7.14	7.17	△ 3	7.15	7.18	△ 3	
出穂期 (月.日)	7.22	7.27	△ 5	7.23	7.27	△ 4	
成熟期 (月.日)	9.06	9.14	△ 8	9.06	9.13	△ 7	
穂揃日数 (日)	6.0	7.0	△ 1.0	6.0	7.2	△ 1.2	
登熟日数 (日)	46	49	△ 3	45	48	△ 3	
生育日数 (日)	143	151	△ 8	143	150	△ 7	
草丈(cm)	移植時	9.5	10.7	△ 1.2	9.4	10.4	△ 1.0
茎数(本/個体)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
主稈葉数(枚)	移植時	3.1	3.2	△ 0.1	3.2	3.3	△ 0.1
地上部乾物重(g/100本)	移植時	1.96	2.35	△ 0.39	1.98	2.30	△ 0.32
地上部乾物重/草丈	移植時	0.21	0.22	△ 0.01	0.21	0.22	△ 0.01
草丈 (cm)	6月20日	28.0	29.7	△ 1.7	26.5	29.8	△ 3.3
	7月20日	71.7	67.7	4.0	68.0	68.1	△ 0.1
茎数 (本/m ²)	6月20日	324	320	4	375	392	△ 17
	7月20日	610	716	△ 106	725	834	△ 109
主稈葉数 (枚)	6月20日	7.3	7.0	0.3	7.5	7.2	0.3
	7月20日	10.0	10.1	△ 0.1	10.4	10.4	0.0
	止葉	10.0	10.1	△ 0.1	10.4	10.5	△ 0.1
稈長 (cm)		61.9	66.8	△ 4.9	61.2	65.0	△ 3.8
穂長 (cm)		15.7	16.1	△ 0.4	15.3	16.8	△ 1.5
穂数 (本/m ²)		604	673	△ 69	705	789	△ 84
一穂粒数 (粒/本)		50.2	50.2	0.0	40.5	40.7	△ 0.2
粒数 (千粒/m ²)		30.3	33.8	△ 3.5	28.6	32.1	△ 3.5
稈実歩合 (%)		95.4	93.5	1.9	94.2	92.9	1.3
稈実粒数 (千粒/m ²)		28.9	31.6	△ 2.7	26.9	29.8	△ 2.9
登熟歩合 (%)		94.2	86.3	7.9	92.5	82.4	10.1
登熟粒数 (千粒/m ²)		28.5	29.2	△ 0.7	26.5	26.5	0.0
粒摺歩合 (%)			77.1		74.6		
屑米歩合 (%)			5.7		8.7		
精玄米千粒重 (g)			22.9		23.4		
わら重 (kg/a)			64.2		64.2		
精粒重 (kg/a)			77.2		76.3		
精玄米重 (kg/a)			59.5		56.9		
屑米重 (kg/a)			3.6		5.4		
収量平年比 (%)			100		100		
検査等級			2上		2上		

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成27年(最豊)、30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a
 播種量 : 中苗紙筒=180cc/箱
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m² 4本植え
 移植方法 : 手植え
 反復 : 2

注3) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水によって調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

令和2年8月下旬～9月中旬までの概況は次のとおりである。

8月

下旬：平均気温は平年並、降水量は平年の16%と少ないが、周期的に降雨があり、降水日数は1.5日多かった。日照時間は平年の92%であった。総じて平年より少雨であった。

9月

上旬：最低気温が平年より3.0℃低く、平均気温は平年より1.7℃低かった。降水量は平年の5%、日照時間は157%であり、平年より低温・少雨・多照であった。

中旬：最低気温が平年より2.9℃低く、平均気温は平年より1.5℃低かった。降水量は平年の42.8%、日照時間は144%であり、平年より低温・少雨・多照であった。

気象表

道総研中央農試(マメダス中央農試本場)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8月	下旬	20.6	20.1	0.5	24.7	24.8	△ 0.1	17.1	16.1	1.0	7.5	46.2	△ 38.7	5.0	3.5	1.5	51.0	55.6	△ 4.6
9月	上旬	18.2	19.9	△ 1.7	23.8	24.7	△ 0.9	13.0	16.0	△ 3.0	3.0	60.6	△ 57.6	2.0	3.3	△ 1.3	81.3	51.9	29.4
	中旬	15.6	17.1	△ 1.5	21.3	22.0	△ 0.7	9.9	12.8	△ 2.9	28.0	65.4	△ 37.4	3.0	4.3	△ 1.3	69.7	48.3	21.4
平均(合計)		18.2	19.1	△ 0.9	23.3	23.9	△ 0.6	13.5	15.0	△ 1.5	38.5	172.2	△ 133.7	10.0	11.1	△ 1.1	202.0	155.8	46.2

注1) 気象データはマメダス中央農試本場。欠測値および明らかな異常値はアメダス長沼で補正。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

1. 秋まき小麦 記載事項なし

2. 春まき小麦 記載事項なし

3. 大豆

6月20日 やや良

事由:播種期は平年より3日早い5月19日、出芽期は平年並の6月2日であった。出芽後の気温が高く推移したことから、主茎長はやや長く、主茎節数もやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日 やや良

事由:開花期は平年より4日早い7月12日であった。主茎長、主茎節数、分枝数のいずれも平年をやや上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日 良

事由:主茎長は平年よりやや短い、主茎節数は平年並、分枝数は平年よりやや多く、莢数は平年比122%と上回っている。

以上により、現在の作況は良である。

9月20日 良

事由:前節同様に、主茎長は平年よりやや短い、主茎節数は平年並、分枝数は平年よりやや多く、莢数は平年比123%と上回っている。登熟も順調に進んでいる。

以上により、現在の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.22	△ 3
出芽期	(月.日)	6.2	6.2	0
開花期	(月.日)	7.12	7.16	△ 4
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	12.8	9.8	3.0
	7月20日	44.9	39.5	5.4
	8月20日	49.0	51.3	△ 2.3
	9月20日	48.2	50.9	△ 2.7
	成熟期		51.2	
主茎節数 (節)	6月20日	3.3	2.9	0.4
	7月20日	9.9	9.3	0.6
	8月20日	9.9	9.7	0.2
	9月20日	10.0	9.7	0.3
	成熟期		9.8	
分枝数 (本/株)	7月20日	7.8	6.5	1.3
	8月20日	8.1	7.1	1.0
	9月20日	7.9	6.8	1.1
	成熟期		6.7	
着莢数 (莢/株)	8月20日	90.9	74.2	16.7
	9月20日	82.7	67.3	15.4
	成熟期		67.0	
一莢内粒数			1.89	
子実重	(kg/10a)		408	
百粒重	(g)		39.0	
屑粒率	(%)		1.7	
品質	(等級)		2中	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、26年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より2日遅い5月26日であった。出芽期は平年より3日早い6月10日であった。6月20日現在で主茎長は平年より長く、主茎節数は平年よりやや少ないことから、生育は概ね平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬以降は小雨多照となり、また7月中旬は高温となった。このため、主茎長は平年より長い、主茎節数および分枝数は平年より少ない。このため生育は概ね平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である

8月20日作況：不良

事由：開花期は平年より2日遅かった。開花期以降は、高温・多照・少雨に経過し、干ばつとなった。このため生育は抑制され、主茎節数は平年並であるが、主茎長は平年より短い。また花落ちが発生し、着莢数は著しく少なく、分枝数は少ない。

以上により、現在の作況は不良である。

9月20日作況：やや不良

事由：8月中旬以降、気温が下がり降雨もあったため生育が回復し、遅れて開花、着莢した。このため、成熟期は大幅に遅れている。平年の成熟期と比較すると、主茎長は短く、主茎節数はやや多く、分枝数は多い。着莢数は同等であるが、9月20日現在の熟莢率は14%で、成熟期に達するには日数を要し、子実の充実不足が懸念される。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月. 日)	5. 26	5. 24	2
出芽期	(月. 日)	6. 10	6. 13	△ 3
開花期	(月. 日)	7. 28	7. 26	2
成熟期	(月. 日)		9. 14	
主茎長 (cm)	6月20日	6. 3	4. 0	2. 3
	7月20日	20. 6	17. 7	2. 9
	8月20日	47. 7	62. 5	△ 14. 8
	9月20日	54. 3	-	-
	成熟期		64. 1	
主茎節数 (節)	6月20日	1. 4	1. 6	△ 0. 2
	7月20日	7. 3	8. 1	△ 0. 8
	8月20日	14. 7	14. 7	0. 0
	9月20日	16. 2	-	-
	成熟期		14. 4	
分枝数 (本/株)	7月20日	2. 6	2. 9	△ 0. 3
	8月20日	3. 3	3. 7	△ 0. 4
	9月20日	5. 3	-	-
	成熟期		3. 8	
着莢数 (莢/株)	8月20日	8. 5	56. 8	△ 48. 3
	9月20日	52. 2	-	-
	成熟期		52. 3	
一莢内粒数			6. 17	
子実重	(kg/10a)		330	
百粒重	(g)		13. 3	
屑粒率	(%)		5. 5	
品質	(等級)		4上	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成29年(最豊)、平成25年(最凶)を除く5カ年平均。

ただし、平成30年は6月20日時点で出芽期に達していなかったため、6月20日の主茎長と分枝数は平成30年も除いた4カ年平均。

注2) 8月20日、9月20日の着莢数は長さ3cm以上の莢を計測している。

5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より7日早い3月27日で、植付期は平年より2日早い4月23日、萌芽期は平年より1日早い5月20日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：5月下旬は低温寡照であったが、6月は気温が高く多照に経過したことから、開花始は平年並であった。茎長はやや短い、茎数はやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：やや不良

事由：6月下旬からまとまった降雨がなく、6月下旬および7月中旬が高温多照であったことから、圃場は干ばつ傾向で推移した。7月20日現在で茎数は平年並であり、茎長が平年より短い。7月上旬より茎葉の萎凋が生じており、早期枯凋による塊茎肥大期間の短縮が懸念される。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日作況：不良

事由：気温は、7月下旬および8月上旬が高く、8月中旬は低温となった。8月上旬までまとまった降雨がなく、圃場は著しい乾燥状態となった。8月20日現在、早期に枯凋した株がある一方で、降雨により茎葉の再生ならびに塊茎の二次成長がみられる。株当たりの上いも数がやや多いが、上いも平均一個重は平年を下回り、上いも重は平年比81.4%と平年を大きく下回った。でん粉価は平年よりやや低かった。

以上により、本年の作況は不良である。

9月20日作況：やや不良

事由：8月に茎葉が再生し、未だ枯凋期に達していない。平年の枯凋期における数値と比較して、株当たりの上いも数は多く、上いも平均一個重は軽く、上いも重はやや下回り（平年比96.7%）、でん粉価はやや低かった。また、塊茎の二次成長がみられる。

以上により、本年の作況はやや不良である。

品種名		男爵薯		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.23	4.25	△ 2
萌芽期	(月.日)	5.20	5.21	△ 1
開花始	(月.日)	6.17	6.17	0
枯凋期	(月.日)		8.19	
茎長	6月20日	35	39	△ 4
(cm)	7月20日	39	46	△ 7
茎数	6月20日	5.1	4.5	0.6
(本/株)	7月20日	5.0	4.8	0.2
8月20日における				
上いも数	(個/株)	13.2	12.0	1.2
上いも平均一個重	(g)	65	89	△ 24
上いも重	(kg/10a)	3807	4677	△ 870
でん粉価	(%)	15.3	15.7	△ 0.4
9月20日における				
上いも数	(個/株)	15.3	-	-
上いも平均一個重	(g)	66	-	-
上いも重	(kg/10a)	4530	-	-
でん粉価	(%)	14.9	-	-
枯凋期における				
上いも数	(個/株)		12.0	
上いも平均一個重	(g)		89	
上いも重	(kg/10a)		4687	
中以上いも重	(kg/10a)		3971	
でん粉価	(%)		15.5	
上いも重平年対比	(%)		100	
中以上いも重	〃 (%)		100	
でん粉価	〃 (%)		100	

注) 平年値は前7か年中、平成28年(最豊)、30年(最凶)を除く5か年平均。
「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。